

今日はいくつ

「ありがとう」と言えましたか

感謝や御礼の気持ちを表す言葉である「ありがとう」。これを漢字で書くと「有難う」になります。

「有」は、存在する・あること・実在といった意味があり、また、「難」は、むずかしい・かたいといった意味があります。

「ありがとう」は、あることがむずかしくてまねなこと、なかなかありそうもないこと、それがこの身に起こり、思わず感謝の気持ちを表すときに使う言葉なのです。

ところが、現代に生きる私たちは、何もかも当たり前になってしまい、「ありがとう」を言うことが少なくなっているように思えます。

しかし、よく考えてみると、衣・食・住の全てにおいて、当たり前のことなど何一つ無いわけであって、あることがむずかしいものばかりです。

東日本大震災で被災した、ある男の子（高校生だったと思います）が、地震に遭い津波で家が流されたことで、「当たり前前の暮らしがどれほど有難いものだったか、初めて気付きました。」とインタビューで答えていたことを記憶している人も多いのではないのでしょうか。



当たり前前に思っていることが、実はとても有難いことであり、その有難い中に、私たちは生かされているのです。

命においても同様です。生きていて当たり前と思っている命も、実は死んで当たり前前の命を生かされているのではないですか。

全てのものに支えられて、あることがむずかしい命が今ここにあり。そう気付かされたなら、自身の命を支え育むもの全てに「ありがとう」と感謝の言葉を言わずにはいられませんね。

そうして、必ず死んでいかなければならない私の命全てをひつくるめて「任せよ」と常に働いて下さっている如来様への感謝の言葉が「南無阿弥陀仏」の御念仏です。